

科目名	デッサン実習3							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	マンガ・アニメーション科 2年次	必/選	選4	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	大槻 透、斉藤里香		教員の実務経験	有	実務経験の職種		画家		
【科目の目的】 基礎的なデッサン力を持つ学生が、クロッキーを中心とした実践的なトレーニングを徹底的に、人体や動きの把握力をさらに向上させる。観察力、表現力、描写スピードを高め、マンガ・アニメーション制作現場で求められる即応力のある表現力を身につけることを目指す。									
【科目の概要】 就職活動で活用できる実践的なデッサン力を習得します。									
【到達目標】 A. 人の体のバランスとプロポーションを正確かつ考えることができる B. クロッキーによって動きのあるポーズを瞬時に描き分けられる C. 光と影を効果的に使い、立体感や空間の印象を表現できる D. 短時間で複雑な構図を考え、安定した画面構成力を身につけることができます。観察力・描写力を高め、個性的かつ魅力的なキャラクター表現ができる									
【授業の注意点】 クロッキーは短時間で対象を考えてトレーニングです。常に集中力を見極め、観察力を最大限に活かして話し合いましょう。失敗を恐れず、積極的に挑戦して描いて、日々の練習の積み重ねを大切にしてください。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	正確な人の身体バランスを瞬時に描ける	確かに正確に近い人体のバランスで描ける	ほぼ人の体のバランスは取れるがある程度の狂いがある	人の体のバランスが不安定で修正が必要	人体のバランスの把握が難しい				
到達目標 B	動きを瞬時に捉えて躍動感がある	動きを短時間で捉えて正しく表現できる	基本的な動きを大きく表現できる	進みにくい、不自然さが残る	動きのあるポーズが描けない				
到達目標 C	光と影の表現が巧みで、空間や立体感が豊かである	光と影を意識して立体感や思考を正しく表現できる	基本的な光と影を使いやすい立体感は表現できる	光と影の使い方が暫定で平面的である	光と影の表現が難しい				
到達目標 D	短時間で複雑な構図を正確に描写し、構成力に優れる	複雑な構図を短時間である程度描写でき、構成が安定している	複雑な構図をある程度描けるが、時間がかかる	複雑な構図を苦手で、構成がやや不安定	複雑な構図が捉えられず、構成が乱れる				
到達目標 E	個性的で魅力的な表現が際立ち、高い描写力がある	キャラクター表現に個性があり、安定した描写力がある	基本的なキャラクター描写ができる、個性も少し感じられる	キャラクターの個性が弱く、描写力に不安がある	キャラクターの個性や描写が不足しく、魅力に欠ける				
【教科書】									

筆記用具、ノート、PC

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

作品提出および授業態度。時限出席率75%以下は課題提出しても不合格となります。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		デッサン実習3			年度	2025
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	人物クロッキー 基礎確認	基礎力を再確認し、 次の段階へ進む準備 をする	人間プロポーション の確認・全体を考 えて訓練	人体バランスの確認		
			5分間クロッキーの 実践			
				基本プロポーションの把握		
2	動きのあるポー ズを描く①	動態表現の基礎を習 得する	動きを意識したクロ ッキー・スポーツやダン スの動きを描く	動きの分かりにくい・ポーズの描き分け		
			3～5分クロッキー	躍動感のある描写		
3	動きのあるポー ズを描く②	瞬発的に動きを訓練	格闘技や激しい動き のポーズ	瞬間的な描写力の向上		
			2分間クロッキーの 連続練習	動きのバリエーション・ポーズの特徴が分かる		
			動きの特徴を見極め る			
4	衣服と人体の関 係	衣服をまとった人の 体の描写力を向上	服のしわやたるみの 観察	服の質感描写		
			衣服をまとった人体 クロッキー	衣服と人の身体関係性理解		
5	陰影と立体感の 表現	光と影を使った立体 感の表現方法を学ぶ	光源を意識したク ロッキー・	光と影の活用法		
			様々な光源位置での 描写	立体表現の習得		
				陰影描写スピードの向上		
6	遠近感・空間表 現	空間における人物の 位置関係の把握	複数のモデルを配置 してクロッキー	視野のある空間表現		
			距離感を意識した描 写	距離感認識の向上		
				複数人物の構成力		
7	複雑な構図への 挑戦①	複雑な構図を短時間 で描く迫力をつける	構図の分析方法	構図把握の訓練		
			数人物が絡むシー ンを描く	人物の構成力向上		
				迅速な描写力の獲得		
8	複雑な構図への 挑戦②	多角的に構図を考 える	視点を変えて描写訓 練・複数視点からの クロッキー	多視点構図力の獲得		
				柔軟な視点変更力		
				短時間描画の安定		
9	キャラクター個 性の描き分け①	個性あるキャラク ターの描き方を学ぶ	個性的な特徴を持つ モデルを描く	個性的な特徴の観察力向上		
			特徴的なポーズのク ロッキー	特徴の強調技法		
				人物描写の多様性向上		
10	キャラクター個	キャラクターの内面	性格や感情を意識した 描写・感情表現ク ロッキー	内面表現の描写力向上		

10	性の描き分け②	を描写に反映する	一瞬での表情・シナリオ描写	感情表現力の習得	
				キャラクター表現の深化	
11	日常動作のクロッキー	自然な動作をリアルに描く力を身につける	日常的な動作の観察	自然な動作の描写力向上	
			自然でリアルな動作描写	日常の動き観察 表現力向上・知覚のある	
12	異なる年齢層の描写	年齢層ごと人の体の違いを鮮明に描く	子供・青年・高齢者の身体描写	年齢層ごとの特徴	
			年齢特徴の面白いと描写	描き分け能力向上 人物像の特徴がない描写	
13	表現技法の幅を広げる	異なる画材や描画方法で表現力を高める	様々な画材でクロッキー・画材の特性を活かす描画	画材選択力の獲得	
			短時間で多様な表現を続ける	描画技法の多様性向上 表現方法の広さの獲得	
14	クロッキー演習	これまで学んだ技術を総合的に確認	短時間で様々なモデル・ポーズ描写	総合描写力の確認	
			総合的な技術力の確認 課題点の洗い出し	短時間での描写安定性 課題の自己理解	
15	作品発表と講評	自身の成長を振り返り、今後の課題を確認	クロッキー作品展示と発表	自己分析と評価力	
			講評会による相互評価 今後の課題設定	コミュニケーション能力の向上 課題認識と目標設定力	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					